



2024年度

文学部

国際文化コミュニケーション学科

Department of International Culture and Communication Studies

目次

- I. 在学学生の声紹介
- II. 国際文化コミュニケーション学科の概要
- III. 学科内の異文化交流
- IV. 留学制度・海外文化研修体制の充実
- V. 資格取得を応援
- VI. 卒業生の進路(就職状況)
- VII. 大学院紹介

I 学科在学生に聞いてみました！ この大学・学科の良いところ

- 1.留学生との交流が多く、直に文化を学べる
- 2.海外留学・研修制度が充実している
- 3.学科の先生が優しい・親身・距離感が近い
- 4.英語以外の言語や多様な地域の文化が学べる
- 5.英語開講の授業が多い、授業でグループワークが多い
- 6.学食が美味しい、構内がキレイ、学習スペースがある

学びたければ学べる環境



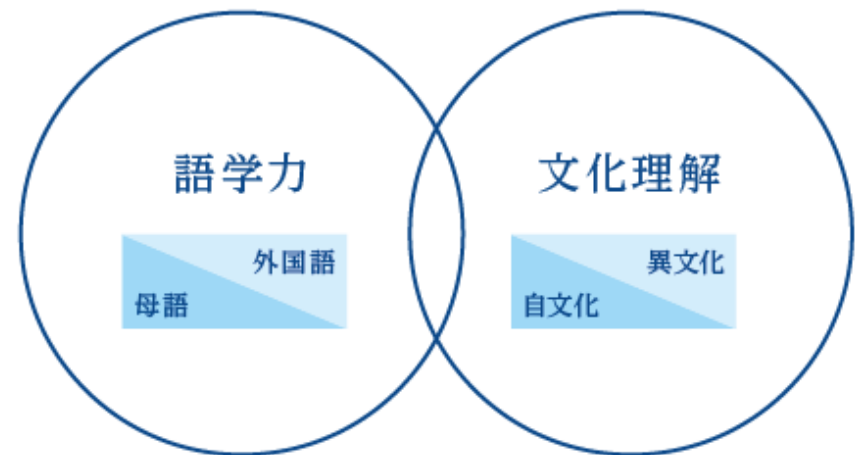
Ⅱ 学科の概要

- 学科のコンセプト、カリキュラム
- 教員紹介

学科のコンセプト

国・文化・価値観の違いを越えて 信頼関係を築くための 真のコミュニケーション力を持つ人材を育成

国際化社会における「コミュニケーション」は、「伝える力」と「くみ取る力」のどちらが欠けても成立しません。その「伝える力」と「くみ取る力」は、母語と外国語の両方の「語学力」と、自分と相手の両方の「文化理解」によって身につけ、より深い信頼関係の次元へと私たちを導くのです。この「語学力」と「文化理解」を活かし、グローバル化していく社会を生き抜く「真のコミュニケーション力」を養成するのが国際文化コミュニケーション学科です。



学科のカリキュラムマップ(2024年度のもの)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマポリシー	
	春(第1セメスタ)	秋(第2セメスタ)	春(第3セメスタ)	秋(第4セメスタ)	春(第5セメスタ)	秋(第6セメスタ)	春(第7セメスタ)	秋(第8セメスタ)		
基礎	入門ゼミナール		ゼミナールⅠA	ゼミナールⅠB	ゼミナールⅡA	ゼミナールⅡB	卒業論文		高度な英語運用能力を身に付け、多極化するグローバル社会の中で自ら考え行動し発信することができる。 資料読解・分析力、論理的思考力、表現力を身に付け、自ら設定した問題を解決していくことができる。	
	国際文化コミュニケーション概説A	国際文化コミュニケーション概説B	英語リスニングとスピーキングⅡA	英語リスニングとスピーキングⅡB			卒論ゼミナールA	卒論ゼミナールB		
	英語リスニングとスピーキングⅠA	英語リスニングとスピーキングⅠB	英語リーディングとライティングⅡA	英語リーディングとライティングⅡB						
	英語リーディングとライティングⅠA	英語リーディングとライティングⅠB								
言語 コミュニケーション	英語学A・B 言語論A・B 英語文法論A・B 資格検定英語A・B 高等英文法A・B 認知と言語 放送英語A・B								英語のみならず、ドイツ語・フランス語・日本語などの多言語への理解、国際コミュニケーションを推進する意思と力を身につけている。	
			上級ビジネスコミュニケーションA・B 通訳練習A・B 翻訳練習A・B 英語で学ぶ異文化交流Ⅰ・Ⅱ 翻訳練習AA・AB 翻訳練習BA・BB 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅰ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅰ ドイツ語リーディングⅠ フランス語リーディングⅠ							
					ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅱ ドイツ語リーディングⅡ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ フランス語リーディングⅡ 英語リスニングとスピーキングⅢA・ⅢB 英語リーディングとライティングⅢA・ⅢB					
国際文化	地域文化学入門 国際文化理解A・B 児童文化論A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象ⅠA・B ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B								自国の文化及び異文化についての深い理解と教養、複眼的な視点を持ち、バランスのとれた国際感覚を身につけている。	
			サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論ⅠA・B 美術表象論A・B 日本文化表象ⅡA・B							
					異文化交流論ⅡA・ⅡB					
社会・キャリア・ 資格	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語教育文法 対照言語学 日本語音声学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会								多様な環境の中で、自己を律し、他者と協働し、社会の発展に貢献することができる。	
			キャリア形成デザインⅠ 日本語教育実践指導A・B							
			日本語教授法A	日本語教授法B	キャリア形成デザインⅡ 日本語教育実習					
教職科目			英語科教育論Ⅰ	英語科教育論Ⅱ	英語科指導法Ⅰ	英語科指導法Ⅱ	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	教職実践演習(中・高)	6	

カリキュラムの概要①

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
基礎	入門ゼミナール		ゼミナールⅠA	ゼミナールⅠB	ゼミナールⅡA	ゼミナールⅡB	卒業論文	
	国際文化コミュニケーション概説A	国際文化コミュニケーション概説B	英語リスニングとスピーキングⅡA	英語リスニングとスピーキングⅡB			卒論ゼミナールA	卒論ゼミナールB
	英語リスニングとスピーキングⅠA	英語リスニングとスピーキングⅠB	英語リーディングとライティングⅡA	英語リーディングとライティングⅡB				
	英語リーディングとライティングⅠA	英語リーディングとライティングⅠB						

1年次は英語に加え、ドイツ語・フランス語・中国語から1言語を選択し学びます(留学生の場合は英語と日本語を学びます)。

2年次以降は専門領域を学びます。ゼミでは世界の、そして日本の言語・文化・コミュニケーションについての理解をさらに深め、4年次には学びの集大成として卒業論文を執筆します。

カリキュラムの概要②

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次
言語 コミュニケーション	英語学A・B 言語論A・B 英語文法論A・B 資格検定英語A・B 高等英文法A・B 認知と言語 放送英語A・B			
	上級ビジネスコミュニケーションA・B 通訳練習A・B 翻訳練習A・B 英語で学ぶ異文化交流Ⅰ・Ⅱ 翻訳練習AA・AB 翻訳練習BA・BB 翻訳練習CA・CB ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅰ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅰ ドイツ語リーディングⅠ フランス語リーディングⅠ			
	ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅱ ドイツ語リーディングⅡ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ フランス語リーディングⅡ 英語リスニングとスピーキングⅢA・ⅢB 英語リーディングとライティングⅢA・ⅢB			
国際文化	地域文化学入門 国際文化理解A・B 児童文化論A・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B 日本文化表象ⅠA・B ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B			
	サイエンス&カルチャーA・B 映画表象論A・B 異文化交流論ⅠA・B 美術表象論A・B 日本文化表象ⅡA・B			
	異文化交流論ⅡA・ⅡB			

1年次～4年次まで複数の言語文化や国際・地域文化、表象文化などを幅広く学びます。

カリキュラムの概要③

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
社会・キャリア・資格	現代日本語概説 日本語史概説 日本の言語行動 日本語教育文法 対照言語学 日本語音声学 日本語教育論A・B 認知と言語 日本語教育政策 文学と社会							
			キャリア形成デザインⅠ 日本語教育実践指導A・B					
			日本語教授法A	日本語教授法B	キャリア形成デザインⅡ 日本語教育実習			
教職科目			英語科教育論Ⅰ	英語科教育論Ⅱ	英語科指導法Ⅰ	英語科指導法Ⅱ	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	教職実践演習(中・高)

キャリアデザインのための科目や、資格取得のための科目も設置されています。

学科教員紹介

朝比奈 美知子(教授)	(フランス文学文化、比較文学文化)	大学院専攻長
和泉 司(教授)	(日本近現代文学)	
大野 寿子(教授)	(ドイツ文学文化、伝承文学(グリム童話))	
竹内美紀(准教授)	(児童文学、翻訳論)	
竹野谷 みゆき(教授)	(社会言語学、語用論)	
鷹取勇希(助教)	(英語学、言語的文化的多様性、地域研究)	
馬場今日子(教授)	(第二言語習得)	学科長
萩原 喜昭(教授)	(電波天文学)	
平畑 奈美(教授)	(日本語教育、国際人材育成論)	
堀 ひかり(准教授)	(視覚文化論、ジェンダー論、映像学)	
上見めぐみ(講師)	(TESOL)	
Chu Johnny Tim(講師)	(TESOL)	

Ⅲ 学科内の異文化交流

- 学生数の20%程度を外国人留学生で構成（中国、韓国、イタリア、マレーシア、香港、ベトナム、ミャンマーからなど）
- 少人数制のゼミナールにも留学生が参加
- 異文化交流の実践的空間が授業内外にあります。

IV 留学制度・海外文化研修体制の充実

1. 留学プログラム
2. 奨学金制度
3. 学科の留学支援体制
4. 海外文化研修制度

1. 留学プログラム①

1. 東洋大学はアジア、ヨーロッパ、アフリカ、北欧、アメリカなど世界37カ国・地域、約200以上の大学と国際協定を締結。
2. 約1年の長期留学、語学留学、約一か月の語学セミナーなどのオプションがある。

教職を取っていると長期間留学することが難しいので、様々な期間・渡航先かがあって助かりました



1. 留学プログラム②

- 国際教育センターの「語学力向上支援プロジェクト」の「留学支援LEAP」
- 課外授業として、少人数英会話、外国語資格試験講座、1対1のライティング支援などもあります。
- ↑「少人数英会話」は2024年度より**無料化**！

[illegible]

学科学生の留学先（2024年度帰国）

ディーキン大学(オーストラリア)

ウィニペグ大学(カナダ)

ダブリンシティ大学(アイルランド)

トムロソ大学(ノルウェー)

カリフォルニア州立大学(アメリカ)

聖クレメント・オブリツキ・ソフィア大学(ブルガリア)

ヨークセントジョン大学(フランス)

など

2. 奨学金制度

1. 学生交換協定に基づく協定校の場合、原則留学先の授業料は免除
2. 条件を満たせば、海外留学促進奨学金の「グローバルリーダー型奨学金」・「トップ大学型奨学金」を受給できる

3. 学科の留学支援体制

1. 留学ガイダンスの実施
学科独自の「留学の手引き」も毎年作成
(30ページ超！)
2. セメスター制の導入
3. 単位認定制度

4. 海外文化研修制度

1. 専任教員が企画・引率する海外文化研修も毎年様々なものが実施されています。

2. 2023年度 ドイツ・スイス
研修旅行(学科の大野先生)→

2023年度教育力強化特別予算事業「異文化を学び自文化を学ぶ」

文学部ドイツ・スイス研修旅行

ドイツとスイスは、同じドイツ語圏でも背負っている文化が違います。自然・環境・食文化・文学・宗教・歴史について、比較考察を行いながら、アイデンティティとは何かを一緒に考えていきましょう。(ドイツ語はスイスの公用語のひとつ)

実施：2023年9月1~14日 (12泊14日)
コストダウンできるよう調整中
費用：69~83万円
それでもスイスは高いです・・・
東洋大学奨学金(チャレンジ型)対象事業(予定)

Deutschland (ドイツ)

- ・環境先進都市フライブルクのとりこみ
- ・ドイツ三大美城のひとつホーエンツォレルン城とプロイセン王家の歴史
- ・黒い森(Schwarzwald)を考える

Schweiz (スイス)

- ・協定校チューリッ大学の教員・学生との交流
- ・Lindtチョコレート工場、ザンクトガレン修道院、「ハイジ」ハウス
- ・ユングフラウヨッホ最高峰の眺め

引率：大野寿子/三重野清顕(文学部教授)

説明会のお知らせ 文学部以外の学生ももちろん対象です

第1回：5月16日(火)12:15~13:00 6201教室
第2回：5月18日(木)12:15~13:00 6405教室

興味のある方は、説明会のいずれかに必ず参加してください

その他の学科主催の講演会など

1年次の「入門ゼミナール」や「国際文化コミュニケーション概説B」でも複数の講演会を実施

 国際文化コミュニケーション学科「入門ゼミナール」特別授業 Part2

ぼくらが学校をつくったわけ

～国に恩返し～

2024年6月28日（金）

3限（6B12教室）および4限（6309教室）

※授業内容はいずれの时限も同じ。

講師：Sharad Rai（シャラド・ライ）氏



プロフィール

ネパール生まれ。〈国に恩返し〉をしたくて、故郷に YouMeSchool を開設。現在、2校で800名の生徒に高質な教育を提供している。内閣国で卒業が少なく、ネパールに、IT会社も起業した。NPO 法人 YouMe Nepal 代表。東京大学大学院博士課程在学中。

どなたでも自由に参加できます。

資料動画サイト：<https://www.youtube.com/watch?v=iq1C2LuhhY>

関連記事：<https://www.1101.com/nepal/39.html>

主催：国際文化コミュニケーション学科 問い合わせ先：石田仁志 (shidah@toyo.jp)

 国際文化コミュニケーション学科 入門ゼミナール特別授業 Part 1

日本語文学を通して考える 異文化交流

2024年6月21日（金）

4限（6309教室）及び5限（6214教室）

講師 グレゴリー・ケズナジャット氏

4限のみ、どなたでも自由に参加できます。

プロフィール

1984年、アメリカ合衆国サウスカロライナ州生まれ。2007年、クレムソン大学を卒業後、外国語指導助手として来日。2017年、同志社大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程修了。現在は法政大学グローバル教養学部准教授。2021年、『鴨川ランナー』（講談社）で第2回京都市文学賞を受賞。2023年、『開墾地』（講談社）で第168回芥川賞候補。近刊はKindle版『単語帳』（2023 U-Next）、『群像Web』にて「物語を探しに」連載中。



問い合わせ先：国際文化コミュニケーション学科 石田仁志 (shidah@toyo.jp)

 国際文化コミュニケーション学科 入門ゼミナール特別授業 Part 3

社会に合わせて生きるから自分のために社会を変える

2024年7月12日（金）

3限（6B12教室）・4限（6309教室）・5限（6214教室）

※授業内容はいずれも同一。3限・4限のみどなたでも参加できます。

講師 前田邦博氏



プロフィール

「NPO法人プライドハウス東京」理事、社会福祉士
授業概要
全ての人が、ジェンダー、セクシャル리티などの性のあり方によって取り残されることなく wellbeing を感じることができる社会づくりについて、プライドハウス東京などのソーシャルワーク活動を通して、感じたことをお伝えし、みなさんとともに学んでいきたいと思います。



プライドハウス東京 URL
<https://pridehouse.jp/legacy/>

プライドハウス東京レガシー（東京新宿）写真
【左】概観・【下】内部

主催：国際文化コミュニケーション学科
問い合わせ先：石田仁志 (shidah@toyo.jp)

V 資格取得を応援

学科で取得可能な科目

中学校教諭一種(英語)

高等学校教諭一種(英語)

図書館司書

司書教諭

学芸員

社会教育主事(任用資格)

社会教育士

社会福祉主事(任用資格)

登録日本語教員(国家資格) →



“日本語教師を国家資格にする” 法律が成立 在留外国人増加で

2023年5月26日 13時47分

国内で暮らす外国人が増え、日本語教育の需要が高まる中、日本語教師を国家資格にすることなどを盛り込んだ日本語教育機関認定法が、26日の参議院本会議で可決・成立しました。

法務省によりますと、国内の在留外国人は新型コロナの感染拡大で一時的に減少したものの、最近では再び増加し、去年6月末には296万人と過去最多を更新しました。

日本語教育機関認定法は在留外国人の増加に伴い、日本語教育の需要が高まっていることを受けて、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るためのものです。

法律では、一定の要件を満たす日本語教育機関を文部科学大臣が適正な教育機関であると認定し、外国人の留学生などに情報提供を行うとしています。

そして、日本語教師の国家資格を創設し、筆記試験に合格して実践的な研修を修了すれば「登録日本語教員」として文部科学大臣の登録を受けることができることなどが盛り込まれています。

日本語教育機関認定法は、26日の参議院本会議で採決が行われ、自民・公明両党や立憲民主党などの賛成多数で可決・成立しました。

VI 卒業生の進路（就職状況）

1. 2023年度3月国際文化コミュニケーション学科卒業生の就職率は95.9%
2. 業種としては、情報通信業、運輸・郵便業、生活関連サービス業、小売業、学校教育、地方公務員など。
3. 大学院進学者も。

VII 大学院紹介①

大学院文学研究科国際文化コミュニケーション専攻

1. 英語を中核とした「言語コミュニケーション領域」と英・独・仏・日の「国際文化領域」の2領域がカリキュラムの柱
2. 英語のみで修了できる「英語トラック」も開設。国際色豊か(入学者の大多数が留学生という年度もあります)。
3. 大学院での海外留学や、学部と大学院とで合計2回の留学する学生も。

VII 大学院紹介②

大学院文学研究科国際文化コミュニケーション専攻

1. 首都大学院コンソーシアム協定聴講生制度があり、協定大学(明治大学、法政大学、共立女子大学など)の授業を履修できます。
2. 大学院科目の先行履修制度(3年次より)もあります。
3. 学内外の奨学金もあります。

2023年度の行事

フランスのストラスブール大学からイレーヌ・ツァマドス＝ジャコベルジェ教授を招待、公開研究指導会(使用言語:英語・フランス語)を実施



A vibrant photograph of a forest with tall trees and dense green foliage. Sunlight filters through the leaves, creating a dappled light effect on the ground. The text is centered over the image in a large, white, bold font.

ご参加ください
ありがとうございました